

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成5年1月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第59巻 第4号

ISSN 0525-2997

vol.59 no.4

物性研究

1993 / 1

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにして下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（—）、ゴシック（ \sim ）、ギリシャ文字（ギ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくいcとe、eとl、vとu、uとn、1(エル)と1(イチ)、0(オー)と0(ゼロ)、x(エックス)とX(カケル)、†(ダガー)と+(プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにして下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（—）、ゴシック（ \sim ）、ギリシャ文字（ギ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくいcとe、eとl、vとu、uとn、l（エル）と1（イチ）、O（オー）と0（ゼロ）、x（エックス）とX（カケル）、†（ダガー）と+（プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

掲 示 板

「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1992度の修士論文を募集したいと思います。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。紙数の許す限り掲載したいと思います。掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。

1. 募集締切：1993年3月末日
2. 自薦、他薦は問いません。
3. 論文のコピーを2部お送り下さい。できるだけ、そのまま写真印刷できるワープロ原稿を歓迎します。その場合、図や写真は文中該当箇所に入れて下さい。
4. 英文での投稿も受け付けますが、原則として、掲載に際しては、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
5. 枚数制限は特にありませんが、できるだけ簡潔なものを希望します。枚数の多いものは、縮めていただく場合があります。
6. 採用、掲載された論文の著者には別刷50部、無料で差し上げます。

「講義ノート」募集

本誌では、大学院特別講義の「講義ノート」を募集します。これまで一部の大学に限られていましたが、枠を広げ全国の大学で行われる、物性関係の興味ある講義のノートを掲載したいと思います。つきましては、関係各位の方々に講義ノートの作成について御尽力をお願いします。

通常、大学院生にノートをとっていただき、講師のチェックの後、掲載しています。講師には別刷50部を寄贈し、ノート作成者には薄謝と別刷20部程度を差し上げています。講師の了解などはこちらで交渉いたします。また、退官記念講演なども、歓迎します。内容と記録の可能性を考慮して、推薦もしくは投稿下さるようお願いいたします。

科研費総合研究・一般研究の 報告書の転載について

「物性研究」では、科研費総合研究及び一般研究の報告書を本誌に転載したいと思えます。研究成果報告として、立派な報告書が作成されても、限られた部数が関係者のみに配布される状況では、誰もが手軽に見ることが出来ません。また、そういった形の報告書は四散して失われる危険も大きく、本誌のような定期刊行物に掲載されれば、公開、保存のいずれにおいても意味があります。つきましては、ご投稿あるいはご推薦下さいますようお願いいたします。

既に印刷済みの報告書 2部を、転載を希望される部分を明示の上、お送り下さい。別刷はお渡ししないことになっておりますが、もし希望の場合は、部数をご連絡下さい。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

〒606-01

京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

物性研究実行会

TEL. (075)753-7051, 722-3540

FAX. (075)722-6339

編集後記

本誌にコメント欄を設けようという話が編集会議でもちあがった時、なんとなく思い出したのが、確か「ビックリハウス」という題で発刊されていた雑誌のことでした。詳しい内容は忘れたのですが、この雑誌はほとんどがライターと読者の交流（交歓 or 交感）にあてられていて、ライターの寸言的な文章——それは、例えば川柳のようなちょっとした人情の機微を題材にした文章が多かったと思う——を読者が受けつぎ、さらに展開（転回）させた文章をライターとして投稿する。そしてうまくゆくと読者とライターがめまぐるしく入れかわりながら、どんどん共感者の輪が拡がり、次々に異なったライターが登場して1つのストーリーらしきものが織りなされてゆくというタイプの雑誌だったと記憶しています。もちろん、そんな「高級な」内容の文章がのるわけではありませんが、時にはギョッとさせられる文章があったりして、若い人の間に根強いファンがあったと記憶しています。（残念ながら廃刊されたようです。）

コメント欄を設けたぐらいで本誌が「ビックリハウス」化してしまう筈はありませんし、そんなことを強いてやる甲斐性を我が物性研究編集部がもちあわせているとも思えません。あの読者とライターの間をめまぐるしい攻防とそれをめぐる熱気みたいなものは、是非我が物性研究にもとり込みたいものです。幸い、最初のコメント欄（12月号）ではまさに「ビックリハウス」的な「複雑系研究会をめぐるe-mail 討論」が掲載されたりして、なかなかタイミングのよい船出であったと自らを祝しております。

最初のうちは、読者からの投稿も少ないことでしょうから、この欄を維持する為に編集部からの依頼コメントで埋めてゆこうと考えていますが、読者諸氏からの本誌掲載論文への自発的なコメントがどんどん寄せられることを期待しています。さらに、コメンテーターが今度は自らの見解を論文の形で本誌に投稿し、それがまた他のコメントを誘発する……そういう姿こそ本誌のあるべき姿であると夢想する次第です。

(K. I.)

物 性 研 究 第59巻第4号（平成5年1月号） 1993年1月20日発行

発行人	池田研介	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

編集後記

本誌にコメント欄を設けようという話が編集会議でもちあがった時、なんとなく思い出したのが、確か「ビックリハウス」という題で発刊されていた雑誌のことでした。詳しい内容は忘れたのですが、この雑誌はほとんどがライターと読者の交流（交歓 or 交感）にあてられていて、ライターの寸言的な文章——それは、例えば川柳のようなちょっとした人情の機微を題材にした文章が多かったと思う——を読者が受けつぎ、さらに展開（転回）させた文章をライターとして投稿する。そしてうまくゆくと読者とライターがめまぐるしく入れかわりながら、どんどん共感者の輪が拡がり、次々に異なったライターが登場して1つのストーリーらしきものが織りなされてゆくというタイプの雑誌だったと記憶しています。もちろん、そんな「高級な」内容の文章がのるわけではありませんが、時にはギョッとさせられる文章があったりして、若い人の間に根強いファンがあったと記憶しています。（残念ながら廃刊されたようです。）

コメント欄を設けたぐらいで本誌が「ビックリハウス」化してしまう筈はありませんし、そんなことを強いてやる甲斐性を我が物性研究編集部がもちあわせているとも思えません。あの読者とライターの間のめまぐるしい攻防とそれをめぐる熱気みたいなものは、是非我が物性研究にもとり込みたいものです。幸い、最初のコメント欄（12月号）ではまさに「ビックリハウス」的な「複雑系研究会をめぐるe-mail 討論」が掲載されたりして、なかなかタイミングのよい船出であったと自らを祝しております。

最初のうちは、読者からの投稿も少ないことでしょうから、この欄を維持する為に編集部からの依頼コメントで埋めてゆこうと考えていますが、読者諸氏からの本誌掲載論文への自発的なコメントがどんどん寄せられることを期待しています。さらに、コメンテーターが今度は自らの見解を論文の形で本誌に投稿し、それがまた他のコメントを誘発する……そういう姿こそ本誌のあるべき姿であると夢想する次第です。

(K. I.)

物 性 研 究 第59巻第4号（平成5年1月号） 1993年1月20日発行

発行人	池田研介	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都1-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)753-7051, 722-3540

FAX (075)722-6339

物性研究 59—4 (1月号) 目次

○講義ノート

「低次元電子系の物性 —有機導体をめぐる話題—」

.....鹿児島 誠一.....447

○修士論文 (1991年度)

連想記憶モデルにおける平衡状態・非平衡状態の性質

.....尾関 智子.....493

○コメント

多賀・山口・清水論文「生物をデザインする—二足歩行運動の
神経筋骨格系モデル」について.....津田 一郎.....534

○掲示板.....536

○編集後記.....538

物性研究 59—4 (1月号) 目次

○講義ノート

「低次元電子系の物性 —有機導体をめぐる話題—」

.....鹿児島 誠一.....447

○修士論文 (1991年度)

連想記憶モデルにおける平衡状態・非平衡状態の性質

.....尾関 智子.....493

○コメント

多賀・山口・清水論文「生物をデザインする—二足歩行運動の
神経筋骨格系モデル」について.....津田 一郎.....534

○掲示板.....536

○編集後記.....538